

現在、会津若松市の自在院じざいいんの入り口と、猪苗代湖の天神浜てんじんはまに、その句碑くひが建てられていますが、お墓は、茨城県古河市いはらきけんこがしの西北せいほくにある満福寺まんぷくじというところにあります。

昔は兼載の好んだ桜さくらの樹きがうえられていて『兼載桜けんさいざくら』とよばれていたようですが、現在は、文化八年（一八一一年）に三百年祭を記念して建てられた小さな墓石はかいしが、竹やぶの中にみられるだけです。墓石には『耕閑軒法橋兼載翁墳こうかんけんほうきょうけんさいおうちか』と中央にほってあり、その左に次のような句がさびしく竹やぶの音を聞いています。

花はなちりて名なのみ残のこるや墳つかさくら桜